

県指定

所在地：西新町

こばやしけながやもん

## 小林家長屋門

文化年間（1804～18）に、篠山藩第12代藩主青山忠裕が、その老女ただやす小林千衛のために修築した屋敷の長屋門である。篠山城の西堀端に面し、武家屋敷の大半が消滅した今日、当時の面影を伝える貴重な建物となっている。

入母屋造、茅葺屋根の構造で、内部には上段の間、物見（見晴らしの窓）等を設け、篠山城下町の武家屋敷門を代表する遺構となっている。

